



インターチェンジの状況、 用地買収はどうなっているか

江寄 悟 議員



インターチェンジの予定地にある元旦ビューティー

江寄 インターチェンジ建設の路線確定と用地測量が終了し、用地買収に入る時期が来た。国への要望額に対して交付決定額はどうなっているか。また、震災の影響は受けていないか。

総務振興課長 平成23年度は要望額1億6055万円に対して交付額は、2250万3000円です。震災の影響は受けていないと思います。

江寄 事業費が当初14億7000万円だったのが20億7000万円に膨らんでいます。町民の皆さまに説明されたときから大幅に増加しています。

用地買収等の費用は1億5300万円

総務振興課長 氷川町だけで、用地費が8600万円、補償費が、6765万円です。用地単価については、鑑定評価により買収単価を決めます。梨等の補償は、1㎡当たりの単価となります。

維持管理費は試算はされたか

江寄 完成した後の維持管理費は、どの様に試算されていますか。

総務振興課長 現在の想定で舗装の修繕、法面の草刈り、側溝・暗渠・標

インター建設是非の住民投票を行うべき

江寄 インターチェンジ建設を引き返せるのは今じゃないかと思っています。町長が、最初に住民説明をされたときとずいぶん違ってきています。住民説明会及び住民投票を行うべきだと思いますか。

住民投票は必要ない町政懇談会で説明する

町長 前議員さんや現議員さんが、住民の皆様の意見を踏まえ推進されており、住民の負託に応え、事業推進をします。住民投票は、必要ないと考えています。住民説明会は、町政懇談会で説明していきます。



インターチェンジの予定地になっている元旦ビューティー (小川方面から)

合併協定の中心市街地 宮原振興局の今後はどうなるか

田中照男 議員



中心市街地

田中 旧電北町と旧宮原町が合併して7年目を迎えて、合併協定書に目を通して感じたことを質問します。一つは、「中心市街地活性化については、計画策定済で事業実施中のものは、現行どおり新町に引き継ぎ実施するものとする」とあるが、計画策定済で事業実施中のものとは何であったのか。また、中心市街地活性化の現状と今後の計画はどうされるのか。

商工観光課長 平成11年3月に作成された宮原町中心市街地活性化基本計画を指していると思います。引き続き実施するものとして、平成17年・18年に道路整備事業、交流広場の整備がされました。

振興局の機能をどうするか

田中 「現在の宮原町役場の位置に支所を置くものとする」とあるが宮原振興局の機能充実をどのようにされるのか。

総務財政課長 合併協定書に住民サービスの低下を期すことがないよう十分配慮するものとなっています。合併協定に沿って肅々と事務執行にあたっていきます。

田中 宮原振興局を無くすのじゃないかと多聞きました。有権者

山間部を中心に耕作放棄地44ヘクタール

農業振興課長 放棄地は、23年は44ヘクタールあります。山間部に多く、耕作条件の悪いところや果樹園の廃園が多いようです。

田中 放棄地は今後どう

町独自は難しい 国県の事業に取り組む

農業振興課長 国県の交付金事業を活用し、10アールあたり2万から5万円の支援を受けることができますので、広報紙や

町単独ではなかなか厳しいものがありますので、国県の事業採択にむけて担当課でも取り組んでいきます。

町長 私どもが再整備基本計画をしました中身についても、多数の反対の意見もありましたので、再度その内容について精査をしているところです。

町長 住民の皆さんの心配はゼロにしているのか。

町長 住民の皆さんの心配もわかりません。合併協定の中では10年間は振興局は存続しますという約束があったと思っています。10年過ぎたから振興局を無くしていいのかわからないことにはならないと

町長 思います。八咫図書館と振興局の事務機能をもちた複合施設を造りたいということとで、基本計画の予算計上をしています。今後も振興局はなくならない、そのようにご理解いただきたいと思います。

町長 農業立町として大変重要な課題とと思っています。後継者がいないところが耕作を放棄される形になっていきます。後継者を育成するのが第一義的かと思っていますが、なかなか後継者が増えるということにはなりませんので、所得向上に向けた取り組みが必要になってきます。

耕作放棄地解消のため 町独自の政策を



あれてる耕作放棄地